

定性的分析：実施結果のまとめ

多様性の価値



バックグラウンドの異なるメンバーとの協働の中で、**考え方や価値観の違いに触れられたこと**。また、そのような**多様性を活かすことで自分だけでは思いつかない革新的なアイデアを生み出すことができた**と記述されていた。今回の研修で多様性の価値を実感した経験と普段の職場の現状とを比較して、**多様な意見が出てきにくい職場環境への問題意識**について言及されている事例も見られた。メンバーの多様性を活かして事業提案を行った成功体験や、こうした経験を通じて芽生えた職場環境への問題意識が、今後は職場のメンバーへのアプローチ方法の変更・工夫や職場の雰囲気づくり・場づくりの取組に繋がっていくことが期待される。

強み 持ち味理解



自分では認識していなかった強みをメンバーからのフィードバックを通して知り、**自己理解を深める**とともに、**自己効力感を覚え**たという声が多く聞かれた。他方で、自分が以前から認識していた強みを今回の研修の中でも活かすことができ、**自身の強みが持つ応用可能性や普遍性に気づく**ことができたというコメントも一定数確認された。また、自分の強みは他者による理解があって初めて活かされるものであるというように、「強み」というものの相対性に思いが至った事例も見られた。今回のプログラムを通して認識された強みを活かして、受講生が職場での自身の振る舞いを自ら主体的に変えていくことが期待される。

貢献



チームメンバーに対しては、ヒアリングや資料作成の作業を自ら積極的に対応することでグループワークを牽引したこと、メンバーが気持ちよく作業に取り組むことができるよう雰囲気づくりや声掛けに取り組んだこと等が貢献の具体例として挙げられた。また、プランの提案先である地域関係者に対しては、地域のこれまでの経緯やフィールドワークで観察した実態を踏まえて、課題の提起、論点の提供を行ったことが貢献の具体例として記述されていた。バックグラウンドの異なるメンバーの中でも**自ら主体的にチームに貢献する行動を取ることができた成功体験**、自分たちが提案したプランに対して**地域関係者から受けた前向きなフィードバック**が、自己効力感の醸成に繋がり受講生の再活躍を促す可能性がある。

三現主義



フィールドワークを通して地域の実態に触れる中で、事前にデスクリサーチした内容とギャップを感じたこと。地域の多様な関係者にヒアリングする中で、地域住民も皆同じ考えを持っているわけではなく、それぞれの考えや価値観を有していることに思いが至ったこと等が記載されていた。今回の研修を通して、**現場に赴いて課題を自分の目で観察すること**、**他者へのバイアスを持たずにコミュニケーションを取る**こと等の重要性が認識され、今後の業務における課題解決のアプローチや職場の人間関係の構築の仕方に影響が生じる可能性がある。

野生



良質なプランの提案を通して地域関係者に貢献したい気持ち、グループワークの中での主体的な行動によってメンバーに貢献したい気持ちがプログラムの中でモチベーションの源泉になったという記述が多く見られた。**他者貢献の気持ちが自身のモチベーションや活力の源となる**ことが再認識されたことで、今後の職場における自身のミッションや仕事を誰かに貢献するための取組として自ら再定義して、高いモチベーションを持って前向きに取り組んでいくことが期待される。また、**より広い社会への貢献にモチベーションの源泉を見出した**ことで、今後のキャリア展望にも影響が生じた可能性がある。